

道院だより

No.28

金剛禅総本山少林寺 埼玉北浦和道院

2011年 4月23日(土) 発行
文責 道院長 梶谷 憲皇

合掌

大震災の後、テレビのCMが自粛され、公共広告が繰り返し流されていました。どれも、心温まるものばかりでしたが、その中で、「心は見えないけれど、心遣いは誰でも見える。」というのがありました。電車の中で、お年寄りに席を譲れない自分に対して自責の念に陥っている青年の姿、そして、その後、階段で出会ったお年寄りには手を貸してあげられるという内容になっていました。

少林寺拳法に「八方目」というのがあります。教範には「八方目とは、目配りのことである。少林寺拳法では、他の武道とは少し異なった目配りを要求している。それは、拳法の技の構成上、攻防の方法が複雑で、手足4本が上下から、常時不定形の攻撃を加えるために、単に目だけを注視している訳にはゆかないからである。古語に「目は百陽の会する所、心動けば心気目にうつる。目動けば亦心も動くなり。」と書かれているように、目の動きはすなわち意のあるところを人に示すので、拳法では目を動かさずして、八方を見ることを平常から修練するのである。(中略) 故に少林寺拳法は、常から、一度に多く見ることを修練させているのである。拳を修めた者の目付きが普通の人と違うのは、これがためである。八方目の修練を積んだ者は、1度に数人の動きを察知したり、目を動かさずして敵の急所に有効なる攻撃を加えられるようになるのである。(教範、下p55)」とあります。

これは、少林寺拳法の実践を想定しての目配りのことですが、実は、私たちの生き方、普段の在り方についてもこの「八方目」を常に意識して生活することが大切なのだろうと思います。つまり、周りの出来事に広く関心を持つということです。「心遣いは誰でも見える。」と言いますが、はたしてそうだろうかということ。電車で席を譲っている人がいたとしても、それに気づくことができる人がいれば、おそらく気づくことができない人もいないのではないかと思います。気付ける人と言うのは、普段から、そういうことに関心がある人です。しかし、日頃から、そういうこと、つまり、困っている人に何かしら手を差し伸べたいなどと思っていない人は、きっとそういう場面にあっても、その行為自体に気付かない。自分の身の周りがある、様々な善意や善行などの「心遣い」は、そういう「心」を持っている人にしか見えないのだろうと思います。そして大切なことは、気付くことだけでなく、実践することです。「心」を「遣い」、行動に移すことです。CMでは、少年が、階段でお年寄りに手を貸しますね。何でもいから、自分から出来ることから、気付いたら行動に移してみることです。思っている行動に移さなかったら、それは思っていないことと同じです。思いは、思っているだけでは伝わりません。行動に表して初めて相手に伝わるのです。少林寺拳法の目指す「自他共楽」の理想郷の実現は、そんな「心遣い」を実践できる人、愛と勇気と行動力を持った人を一人でも多く育てることから始まるのです。

少林寺拳法の修練では、先輩が後輩に指導する場面がたくさんあります。これは、もちろん、後輩達の技術の向上のためではありますが、実は、先輩達も、自分の思いを相手に伝えるという訓練をしているのです。相手のことを思って、自分の思った事を言葉や行動として表わし、伝えるという訓練をしているのです。そういう経験をたくさん積むことで、自分の思いを行動として人に伝えていくことに自信を持てるようになります。

少林寺拳法は“行”です。自分が“行”じたことを、実際に“動”かしていくこと、これが、“行動”するということです。行動に表せなければ、“行”じている意味がありません。行動することに意味があるのです。

結手

連 絡 事 項

① 東日本大震災の救援物資のお願いについて

今回の東日本大震災について、少林寺拳法グループも、救援活動の動きが本格的に始まっています。被災地の道院長や拳士を中心に、本山と連絡を取り合いながら、ボランティア活動も行われています。もし、個人的にボランティアに参加したいという思いのある方はお知らせください。具体的な参加方法に関してお知らせします。

また、埼玉県少林寺拳法連盟としても、義援金活動を予定しています。まずは、本年度の県大会の中止に伴って、本来ならば、県大会の為に道院より協賛金として治めていたお金を全て、義援金に充てることとなりました。北浦和道院からも、県大会への拠出金と合わせて、県大会への個人の参加費として治めていたお金を、義援金として納めたいと考えています。合計3万円ほどですが、私達北浦和道院の気持ちとして出していきたいと思えます。

その他にも、県連からトラックを用意して、救援物資を送ることになりました。つきましては、ご家庭に眠っている衣料品や、日用品などありましたら、拠出していただければと思います。古着でもかまいませんし、新しく買っていただいたものでももちろん結構です。被災地からの情報ですと、下着類、女性の生理用品、コンタクトレンズの洗浄液、また、物資を入れておくバックなどが、不足しているという話も入っています。被災された方は、本当に着の身着のまま避難されていますので、とにかく何もありません。救援物資もかなり入って来ているようではありますが、自分が被災したとしたら、どんなものが欲しいかなど想像して、思いついたものであれば何でも良いと思います。本当に何でもかまいません。ぜひご協力いただければと思います。下に拠出いただける際のお願い事項を示させていただきます。よろしくお願いいたします。

① 集める日 4月30日の練習日

② 拠出の方法

下着や洋服類は、1枚ずつビニール袋などに入れ、物の名前、サイズ、男女の別、着てもらえそうな年齢などを記入してください。

③ その他のもの

何が入っているか記入してください。

今私達に出来ることから始めていきたい、そんな気持ち、みんな持っていると思います。でも、なかなかその方法が分からないという状況ではないでしょうか。だから、買い物に行って、義援金の箱があると、買い物をしたお釣りを、少しばかりですが、募金することって多いですね。出来ることから少しずつやっていければいいのかなと思います。今回の災害の復興は長期にわたる事が予想されます。息切れしないように、自分にできることを少しずつやっていくことが大切なのだと思います。

② 練習場所について

常盤小学校の体育館使用制限に伴う練習場所の変更については、道院だよりでもお知らせしていますが、本道院ホームページでも、練習場所とその詳細について記載してありますので、ぜひご覧ください。